

## 抗 RuvB 抗体, ウサギ抗血清

61-007 100 µl

保存: 4°Cまたは-20°Cで送付、-20°Cで保存

免疫原: 精製全長リコンビナント RuvB タンパク質 (文献 2)

形状: 0.05% sodium azide 添加ウサギ抗血清

### 用途:

ウエスタンブロッティング (x 3,000 希釈、図 1)

他の用途は試されていない。

**背景:** 大腸菌 RuvB タンパク質は、相同組換え、組換え修復の後期過程で、RuvA タンパク質と複合体を形成し組換え中間体であるホリデイ構造に特異的に結合し、ホリデイ交叉点を ATP 水解のエネルギーを利用して移動させ、ヘテロ 2 倍体領域を拡大する。**RuvB** は 6 量体リング構造を形成して二重鎖 DNA を包み、ホリデイ交叉に結合した RuvA 4 量体を両側から挟む構造をとる。**RuvB** は DNA と RuvA タンパク質によって活性化される ATPase 活性を有する DNA モータータンパク質である (文献 1、2)。分子量は 37 kD で生理的条件下では水溶液中では 2 量体を形成している。

データリンク: Swiss-Prot [P0A812](#)

### 関連製品:

[01-007](#) *E. coli* RuvA protein

[01-009](#) *E. coli* RuvB protein

[01-011](#) *E. coli* RuvC protein

61-005 anti-RuvA antibody, rabbit polyclonal

61-009 anti-RuvC antibody, rabbit polyclonal

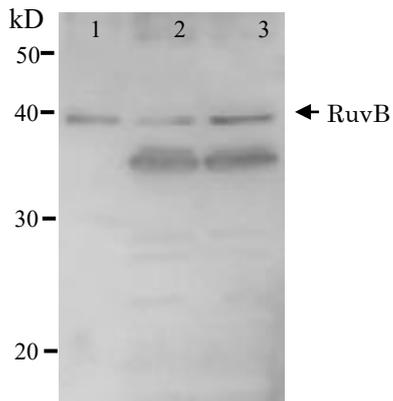


図 1 この抗体を用いたウエスタンブロッティングによる RuvB (37kD)タンパク質の検出

lane1: RuvB タンパク質 5ng

lane2: 大腸菌 AB1157 粗抽出液

lane3: 大腸菌 AB1157 *lexA* 変異株粗抽出液  
RuvB の発現は *lexA* 変異によって増強された。

### 文献:

1. Shinagawa H and Iwasaki H (1996) "Processing the holliday junction in homologous recombination" *Trends Biochem Sci* **21**:107-111 PMID: [8882584](#)
2. Iwasaki H *et al* (1992) "Escherichia coli RuvA and RuvB proteins specifically interact with Holliday junctions and promote branch migration" *Genes Dev* **6**:2214-2220 PMID: [1427081](#)